



しろやま

令和7年12月24日

第10号

校長 黒原 裕一



2学期をふりかえって「思いやり まねてかしこく 力をあわせて」

「まねてかしこく」に思いをこめて ※まねること即ち学ぶこと

- 教育は「まねる」ことによる文化の継承を基本と考えて
- 子供たちの一番側にいて、その手本としてのご家族の方々に感謝
- 地域を大切に想い、守り続ける皆様に学ぶことは、価値のあること捉えて

今年も様々な教育活動にご理解とご協力を賜りありがとうございました。

総合的な学習の時間の講師として、朝の登校の見守りと安全指導、そして学校運営の支援等、地域と共にある学校として、いろいろな場面でお力添えを頂戴しました。来年も、どうぞよろしくお願いします。

（終業式の話～概要～）8月の始業式の日、学校教育目標具体化のキーワードの中から、「まねてかしこく」について、「もっとまねてかしこくなる夏」「もっとつなげて考える夏」、そして「まねてかしこくの いったりきたり（相互関係）」を意識するように話をしました。

学習のなかで、専門家の方々から詳しく説明を聞いたり、聞いたことに自分の考えを付け足してまとめたりして発表することができました。また、高学年のみなさんは、各行事への取組において「まねをされる（お手本）」対象として活動する様子が随所に見られました。まねをしたり、まねをされたりして、互いを尊重する人間関係は大切な財産です。「巳年（へび）」の今年、少しずついいねいにかしこく作ったガイドラインは、「午年（うま）」の来年、力強く走るための道標になります。私たちみんなで作った道を力強く駆け抜ける1年にしましょう。



「歴史をつないで」（修学旅行・的当てボードの作成）

これまで数々の6年生が代々つないできた最上級生としての取組を活かして、新しい歴史をつくりながら、卒業に向けた歩みを進めています。都内をフィールドにした修学旅行では、最先端の科学技術に触れたり、劇団四季やゴッホ展の鑑賞を通して、迫力ある本物を体感したりしてきました。

今は、グランド北側にある的当てボードに、本沢を象徴するもののひとつである「ぶどう」のイラストを描いているところです。ぜひご覧ください。





第 68 回 学校と地域社会との連携研究会（地提研）

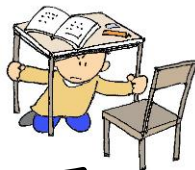
テーマ『地域防災』～防災について体験しながら五感で学ぶ～

12月20日（土）、父母と教師の会学年委員長会を中心に、「地域防災」をテーマとした『第68回学校と地域社会との連携研究会（地提研）』を開催しました。

防災・減災をテーマに、講師として山形市教育委員でもいらっしゃる「ゲンサイデイズ」運営の細谷真紀子氏に来校いただき、講話を頂戴しました。身近な防災について、本沢地区を中心としたハザードマップや想定される地震による影響等を映像で紹介していただきながら、参会した方がそれぞれの視点で「地域で協力する防災」を考えるきっかけとなったようです。

また、細谷氏による地震（YURETA マット）体験、山形県や山形市の防災対策課様、（株）あいおい損保様、（株）エスパック様、武田久幸様の協力を得て、段ボールベッドや簡易テント、災害を体感するVR体験、非常食の調理体験と試食など、五感を使って防災を考える半日となりました。

中心となりご準備いただいた、父母と教師の会学年委員長会の皆様、関係者の皆様、ありがとうございました。



冬休みの安全な暮らしについて（12月25日～1月7日）

明日（25日）からは、年末年始休業（冬休み）となります。ご家庭で過ごすことになるかと思いますが、お正月明け、元気に登校できるよう、各家庭でのお声がけや指導をお願いします。滑りやすい路面、軒下のつらら、クマには特にご注意ください。

- 規則正しい生活は元気のみなもとです。生活リズムを整えて過ごしましょう。
- 地域外からの来訪、遠方へのお出かけ等がある時期です。交通安全、不審者対応についても、ご指導ください。何かありましたら、警察等へご相談をお願いします。
- 休み中、緊急に連絡する必要がある場合（震災に遭い避難所にいる等）は、氏名と連絡先を添えて、次のメールアドレスにご連絡ください。状況に応じて折り返し致します。

motosawa4680@motosawa-e.ymgt.ed.jp

1月・2月の主な行事

1月8日（木）3学期始業式 一斉下校
1月13日（火）積雪時の避難訓練
1月14日（水）身体計測

1月16日（金）
父母と教師の会企画委員会
1月29日（木）3～6年
スキー教室（蔵王）

2月5日（木）新入児保護者会
2月12日（木）学校運営協議会③
2月13日（金）1～2年 雪上教室
2月19日（木）学習参観・懇談会 等
2月27日（金）6年生を送る会